

令和元年度 事業報告

1、電話相談受信状況 別頁

2、相談体制

- (1) 相談時間 年中無休 24時間
- (2) 相談員 登録相談員数 165名 (2018年度 178名)
実働相談員数 131名 (2018年度 151名)
休務相談員数 34名 (2018年度 27名)
実習相談員数 16名 (2018年度 13名)
- (3) 相談員研修
- ①グループ研修 各班毎(5班)に年間5回実施。
- ②全体研修
- 第1回 4月11日(木)
「センター移転に伴う諸問題について」 「深夜帯共同化について」
「相談者意見・注文について」 「センターの運営上の諸問題について」
大分いのちの電話業務執行理事・事務局長 勝谷 齊
- 第2回 6月1日(土)
「心の病を示す方の理解と対応」
医療法人善慈会大分丘の上病院院長 帆秋善生 氏
- 第3回 8月24日(土)
「攻撃的電話・苦情電話への対応」
大分いのちの電話理事・研修委員長 矢頭道三 氏
- 第4回 10月19日(土)
「死にたいと訴える方の理解とその対応」
大分県こころとからだの相談支援センター所長 土山幸之助 氏
「フリーダイヤルの取組について」
大分いのちの電話業務執行理事・事務局長 勝谷 齊
- 第5回 1月11日(土)
第1回大分県自殺対策講演会を兼ねる。

3、広報活動

- (1) 通信誌(100号、101号、102号)、事業報告の発刊
- (2) マスコミ取材(9/10大分合同新聞、3/8読売新聞)

4、啓発活動

- (1) 大分県自殺対策講演会(主催 大分県・社会福祉法人大分いのちの電話)
- 第1回講演会
- 期日 令和2年1月11日(土)
- 演題 「人は、人を浴びて人になる」
- 講師 やきつべの径診療所児童精神科医、医学博士 夏苺郁子氏
- 演題 「児童虐待の現状と児童相談所の役割」
- 講師 大分県こども・女性相談支援センター子ども相談支援第一課長 小野幹夫 氏
- 第2回講演会
- 期日 令和2年3月7日(土)
※コロナ感染症対策のため、令和2年10月4日(日)に延期
- (2) 講演会・研修会への講師派遣
- 1月28日 大分人権擁護委員会協議会研修会 理事・事務局長 勝谷齊
- 2月5日 大分県専修学校各種学校連合会定例総会 理事長 金子進之助
- 2月25日 中津市ゲートキーパー養成研修会 理事・事務局長 勝谷齊
- (3) 第14回カウンセリング公開講座・第36期電話相談員養成講座
- 受講者25名(相談員養成講座全課程修了者16名)
- ※2018年度 受講者23名(相談員養成講座全課程修了者17名)
- ※2017年度 受講者25名(相談員養成講座全課程修了者14名)

5、財務活動

期間 2019年6月 ~ 2020年3月

財務活動委員 6人

訪問先 194 (団体、法人、銀行、病院、ロータリークラブ、ライオンズクラブ 等)
自殺対策講演会、チャリティバザーでの募金活動

6、感謝状贈呈

- ・団体表彰 令和2年1月11日 資金協力(永年寄付)7団体
- ・相談員表彰 令和元年10月19日 20年表彰1名、10年表彰7名

7、関係機関・団体との連携

- (1) 大分市民のこころといのちを守る自殺対策行動計画策定等検討委員会委員
- (2) 大分県自殺対策連絡協議会委員
- (3) 大分県被害者等支援連絡協議会副会長
" 幹事
- (4) 大分県自殺予防週間街頭キャンペーン(9月10日)
- (5) 大分市社会福祉大会(11月13日)

8、日本いのちの電話関連

5月24日・25日 2019年度 ブロック会議、定時総会、意見交換会・事務局長研修(東京都)
9月3日 第44回日本自殺予防シンポジウム(名古屋市)
1月25~26日 九州・沖縄地区事務局会議(鹿児島市)
2月7日 研修担当者研修会(京都市)
2月15日 自死遺族支援合同研修会(東京都)

9、チャリティバザー等

10月14日 第4回大分いのちの電話のためのチャリティコンサート(佐伯市)
主催 佐伯ロータリークラブ
11月23日 開局33周年チャリティバザー(大分市)
11月30日 第15回大分いのちの電話支援チャリティコンサート(大分市)
主催 讚美歌・典礼聖歌を歌う会

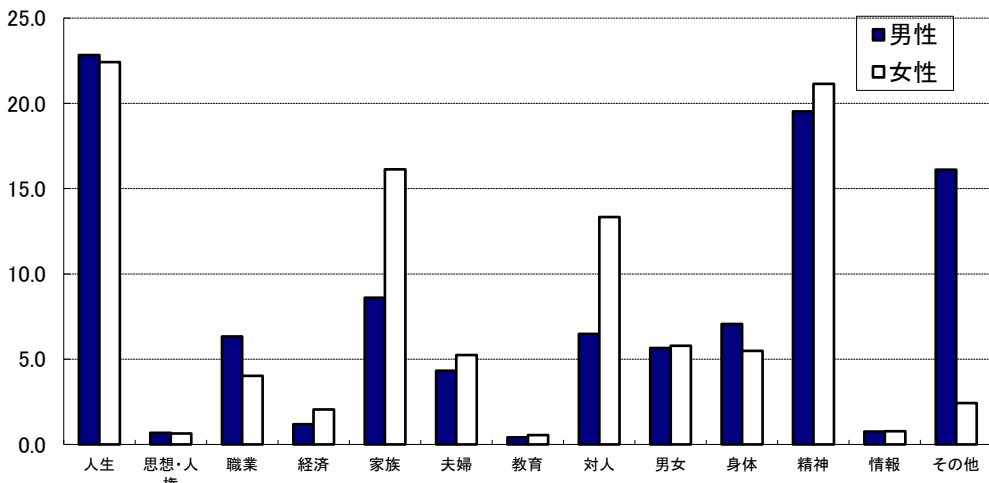
10、各種委員会等

理事会(2回) 評議員会(2回) 運営委員会(8回) 財務委員会(7回)
スーパーバイザー会(2回) 世話人会(6回) 研修委員会(6回)

2019年 大分いのちの電話1～12受信状況

- 1 総相談件数 10,340 件
 * 一日平均 28.3件
 * 男女比 48.2% 51.8%
- 2 相談時間 279,467分
 * 1件当たりの時間 27.1分
 * 男女比 36.4% 63.6%

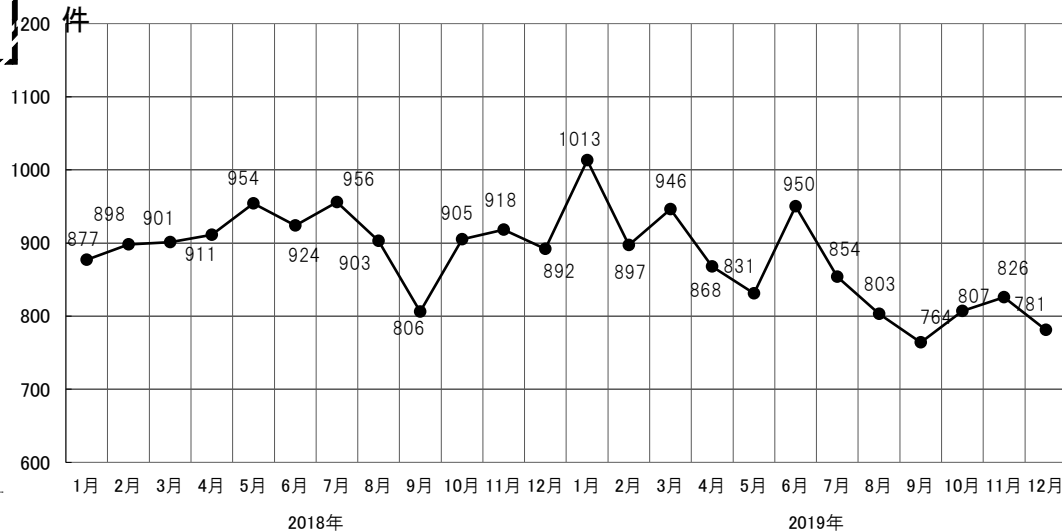
3 相談内容 (%)



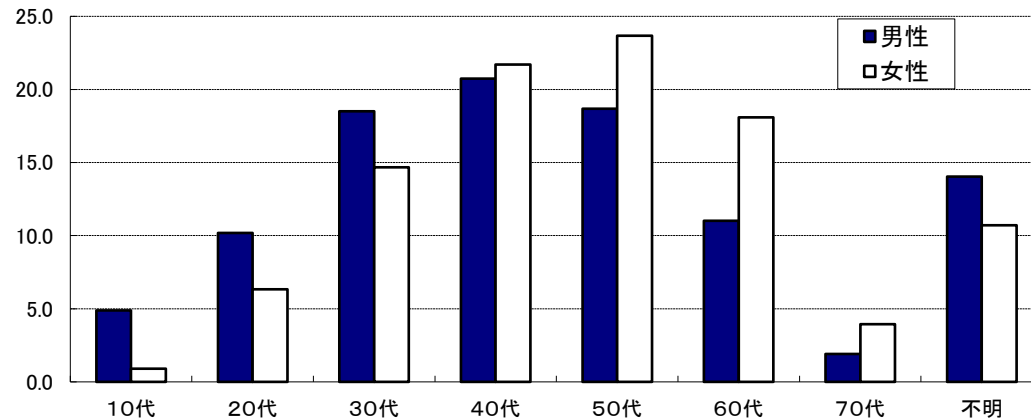
☆男女別相談件数 (件)

性別	順位	項目	%	相談内容
	男	1	人生	22.8
2		精神	19.5	うつ・統合失調症・嗜好行動・自傷行為・性
3		その他	16.1	攻撃・いやがらせ・いたづら・テレフォンセックス・ひとこと
性	4	家族	8.6	子育て・扶養・介護・家庭内暴力・虐待・不満
	5	身体	7.1	慢性疾患・難病・ガン・HIV・その他の疾患・性
	1	人生	22.4	生き方・孤独・死別・事故・事件
女	2	精神	21.1	うつ・統合失調症・その他の疾患・自傷行為
	3	家族	16.1	子育て・扶養・介護・家庭内暴力・虐待・不満
	4	対人	13.3	ハラスメント・いじめ・孤立・性格・不和・トラブル
5	男女	5.8	恋愛・同棲・結婚・妊娠・DV・ストーカー・同性愛	

4.月別受信件数



5.自殺にふれた相談件数



6.自殺にふれた件数

1～12月 961件 (相談件数の9.3%)

*男性451件 女性510件

*自殺傾向のある相談内容

1位精神39.0% 2位人生27.3% 3位家族10.8%

令和2年度 事業計画

I 目指す方向

1、相談体制の充実

大分いのちの電話は1986年7月19日に開局し、以来34年間に渡り、年中無休24時間体制を続け、悩んでいる方々へ寄り添う活動を続けきた。今後も社会の変化やニーズに対応した相談活動を充実させていく。

2、適切な運営

1998年に225名いた相談員は、現在では141名になり、また相談員の平均年齢も約60代半ばとなった。今後一層相談員を増やす努力を続けるとともに、相談員、事務局、法人等関係者との連携を一層深めた運営を行う。

3、安定した経営

寄付金等の減少が続いているが、経費の見直しに努めるとともに、財務活動を継続し、増収に努める。

II 目標

1、相談体制の一層の充実

① 相談員資格更新手続きの周知

- ・手続き未実施者への働きかけ及び面接の実施
- ・認定の視点を再度周知(世話人会、研修委員会、全体研修会を通して)

② 全体研修会への参加の推進

- ・相談員のニーズの把握
- ・新たな講師の開拓
- ・相談員への周知の工夫
- ・大分市主催自殺対策講演会等の外部研修の全体研修扱い

③ グループ研修への参加の推進

- ・グループ研修の意義の説明
- ・相談員への周知の工夫

④ 大分県自殺対策講演会(年2回)

- ・相談員のニーズの把握(アンケート、自由意見等を通して)
- ・魅力ある講師、魅力あるテーマ
- ・案内の工夫(県や市町村との協力を通して)

⑤ 相談員数の確保

- ・養成講座受講者の増加
要項等の工夫、受講負担の軽減、
要綱配布先の拡大
- ・休務者の復帰
依頼文の送付
- ・退務者の減少
相談員のフォロー体制の周知

⑥ 深夜帯の相談員の確保

- ・回数の軽減(年に1回でも)
- ・新規相談員への依頼

2、適切な運営

① 各種委員会(広報・調査研究・編集・事業)への参加者の拡大

- ・新規相談員への依頼

② 事務局会議の開催

③ 相談員と事務局の連携

④ 就業規則、文書取扱規程、公印規程、旅費規程、給与規程、決済規程、経理規程、超過勤務規定等の整備

⑤ 理事、評議員、運営委員、の増員

3、安定した経営

① 収入

- ・財務委員会、広報委員会の活動の一層の活発化(寄付・賛助会員の拡大)
- ・チャリティバザーへの物品提供者の拡大及び物品収納及び値付け場所の確保、高校ボランティア活動との連携
- ・2つのチャリティコンサートへの協力

② 支出

- ・予算範囲内での支出
- ・必要経費の見直し
印刷消耗費、会場費、出版費、紙、電気等

③ 県との連携

- ・委託事業、補助等

Ⅲ 計画

1、概要

(1) 電話相談関係

- ① 相談電話 097-536-4343
- ② 相談体制 年中無休24時間
- ③ 相談員数 141名

(2) 自殺予防いのちの電話フリーダイヤル(全国一斉)

- ① 電話 0120-783-556 (無料)
- ② 期間 毎月10日8時~11日8時(24時間) 年12回実施

(3) 大分県自殺対策講演会(大分県との共催)

- ① 第1回 令和2年10月4日(日) アイネス2階
「虐待の淵を生き抜いて」
児童虐待防止機構オレンジCAPO理事長 島田妙子 氏
- ② 第2回 令和3年 2月13日(土)

(4) 第37期電話相談員養成講座・第15回カウンセリング公開講座の開催 令和2年7月7日(火)~

(5) 広報活動等

① 通信誌等

通信誌103号・104号・105号の発刊 1300部
令和2年度事業報告集の発刊 1000部

② 自殺予防いのちの電話カードの高校への配布

③ 大分いのちの電話ロゴマークの活用

④ 高校生用自殺防止カードの活用

⑤ 大分いのちの電話リーフレットの活用

⑥ チャリティ活動

- ・第34回大分いのちの電話チャリティバザー (大分市竹町ドーム広場)
- ・第15回大分いのちの電話支援チャリティコンサート (大分ルーテル教会)
- ・第5回大分いのちの電話のためのチャリティコンサート(佐伯ロータリークラブ)

⑦ 法人関係者による講演活動

自治体(県、市町村)、関係団体、学校 等

〈 社会福祉法人 大分いのちの電話 〉

2018年度 事業報告・2019年度 事業計画

「2018年度の事業報告にあたって」

社会福祉法人大分いのちの電話
理事長 金子進之助

昨年度の事業報告をお送りする時期になりました。全国的に見ても、大分県内でも一頃に比べて自殺者が減少してきたのは喜ばしいことです。しかし人口割合で見るとまだまだ努力が必要だと思います。昨今のニュースを見ても「就職氷河期を引きずったかと思われる問題」「8050問題（高齢者と引きこもりの方の家族）」「被虐待児童に見られる家族の問題や子育ての問題」「過労による自殺問題」「病苦」「生活上の問題」など、生き難さを抱えて暮らしている方がおられることに気づきます。

自殺問題に加えて、このような悩み多き魂の叫びを24時間、365日いのちの電話は聞き続けて参りました。これを電話口で聴くのは自ら志願して相談員になった方々です。「一粒の麦は、地に落ちて死ななければ、一粒のままである。だが、死ねば、多くの実を結ぶ。（ヨハネによる福音書）」というように、世の中のためになると決断して応募された相談員の働きなくしては、いのちの電話は成り立ちません。近年この相談員が、減少傾向にあります。相談事業を続けるためには、新しい相談員の参加が必要です。

さらに昨年度は、寄附金収入の減額と事務局移転に伴う出費が重なり、単年度収支がマイナスになりました。財務・募金活動にも力を入れなくてはなりません。

統計に見られる相談通話はごく一部で、なかなか電話が繋がらないと、嘆いている多くの方がおられます。そのためにも相談員の確保と財務の確立が大切です。賛助会員はじめ、大分いのちの電話を支えてくださる皆様のご協力を心から御願いたします。

皆様の安寧とご自愛とお祈りいたします。

2019年度 事業計画

1、電話相談関係

(1) 相談体制

年中無休24時間

(2) フリーダイヤル「自殺予防いのちの電話」

・毎月10日（24時間）、年12回実施

2、大分県自殺対策講演会（大分県との共催）

・第1回 令和元年10月（予定）

・第2回 令和2年 2月（予定）

3、第14回カウンセリング公開講座・第36期相談員養成講座の開催

4、広報活動等

(1) 通信誌等

通信誌100号・101号・102号の発刊 1300部

令和元年度事業報告集の発刊 1000部

(2) 自殺予防いのちの電話カードの高校への配布 1000部

(3) 大分いのちの電話ロゴマークの活用

(4) 高校生用自殺防止カードの活用

(5) 大分いのちの電話リーフレットの活用

(6) チャリティ活動

・第33回大分いのちの電話チャリティバザー

・第14回大分いのちの電話支援チャリティコンサート（大分ルーテル教会）

・第4回大分いのちの電話のためのチャリティコンサート（佐伯ロータリークラブ）

(7) 法人関係者による講演活動

関係団体及び学校等

(8) マスコミ取材

新聞・テレビ・ラジオ・ケーブルテレビ等

2018年度 事業報告

1、電話相談関係

(1) 相談体制

年中無休24時間

(2) 相談件数

年間相談件数 10845件

一日平均 約30件

相談者の男女比 50.1% 対 49.9%

(3) 相談時間

年間合計 4718時間50分

一件あたりの時間 約26分

相談時間の男女比 36.6% 対 63.4%

(4) 自殺にふれた相談件数

総件数 1005件 (全相談件数の9.3%)

男性 449件

女性 556件

(5) 相談員数

151名

2、フリーダイヤルへの参加

(1) 自殺予防いのちの電話 (全国一斉)

・毎月10日(24時間実施)、年12回実施

(2) 熊本震災ダイヤル

(3) ふくしま寄り添いフリーダイヤル

3、大分県自殺対策講演会 (大分県との共催)

○ 第1回 平成30年9月29日

「東尋坊からのメッセージ 自殺したらあかん」

東尋坊命の灯台守

茂 幸雄 氏

「発達障害の大人の方への理解と支援について」

大分メンタルヘルズネット代表

中村 廣光 氏

参加者 230名

○ 第2回 平成31年1月19日

「だいじょうぶ!一緒だから」

メイク・ア・ウィッシュオブジャパン理事

大野 寿子 氏

「いのち支える大分県自殺対策計画について」

大分県福祉保健部障害福祉課精神保健福祉班

朝來野 幸治 氏

「こころの架け橋、大分いのちの電話の役割」

社会福祉法人大分いのちの電話事務局長

勝谷 齊 氏

参加者 217名

4、第13回カウンセリング公開講座・第35期相談員養成講座受講者

24名 (全課程修了者 17名)

5、広報活動等

(1) 通信誌等

通信誌97号・98号・99号の発刊 1300部

平成30年事業報告集の発刊 1300部

(2) 自殺予防いのちの電話カードの高校への配布 2000部

(3) 大分いのちの電話ロゴマークの作成と活用

(4) 高校生用自殺防止カードの作成と活用

(5) 大分いのちの電話リーフレットの作成と活用

(6) チャリティ活動

・第32回大分いのちの電話チャリティバザー

・第13回大分いのちの電話支援チャリティコンサート (大分ルーテル教会)

・第3回大分いのちの電話のためのチャリティコンサート (佐伯ロータリークラブ)

(7) 法人関係者による講演活動

民生委員大会、ロータリークラブ等、3回

(8) マスコミ取材

新聞・テレビ・ラジオ、5回